

まちづくり交付金 事後評価シート
大分駅周辺地区

平成26年3月

大分県大分市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大分県	市町村名	大分市	地区名	大分駅周辺地区			面積	325ha																																																												
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	12,600	国費率	0.386																																																														
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業 道路 末広東大道線、大道金池線、六坊新中島線、県庁前古国府線、末広王子南線、金池南(大道1号線、7-5号線、6-17号線)、公園(小児童公園、金池南児童公園、屋上公園)、地域生活基盤施設(ポケットパークの整備、駐輪場設置、観光案内サイン設置、公共施設案内及び通り名称のサイン設置、防災倉庫)、高質空間形成施設(大分駅南口広場とシンボルロードの修景)、高次都市施設(市民ホール、会議室、児童センター、観光案内所設置事業) 提案事業 地域創造支援事業(総合社会福祉保健センター、市民図書館、産業活性化を図る知的拠点、都心博物館モデルロード策定事業、まちなか出店サポート事業)事業活用調査(事業効果の分析に関する調査、中心市街地における公共交通再編調査、大分都心南北軸トータルデザイン策定調査)、まちづくり活動推進事業(環境にやさしい自転車のまちづくり啓発事業)	事業名																																																																		
	当初計画から削除した事業	基幹事業 情報板(観光案内サイン設置) 提案事業 なし	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響																																																														
	新たに追加した事業	基幹事業 道路(7-5号線、6-17号線) 提案事業 大分都心南北軸トータルデザイン策定調査	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響																																																														
	交付期間の変更	当初 平成21年度～平成25年度 変更 なし	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">従前値</th> <th colspan="2">目標値</th> <th colspan="2">数値</th> <th rowspan="2">目標達成度</th> <th rowspan="2">1年以内の達成見込み</th> <th rowspan="2">効果発現要因(総合所見)</th> <th rowspan="2">フォローアップ予定時期</th> </tr> <tr> <th>基準年度</th> <th>目標年度</th> <th>モニタリング</th> <th>評価値</th> <th>モニタリング</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標1</td> <td>歩行者通行量</td> <td>人</td> <td>318,287</td> <td>H20</td> <td>350,000</td> <td>H25</td> <td>291,535</td> <td>288,290</td> <td>×</td> <td>あり なし</td> <td>●</td> <td>平成25年度推計値では、目標値350,000人に対して288,290人となり、達成の見込みは低い。しかしながら、平成17年度以前の実績を基にした推計値と比較すると、約5,500人上回っており、効果は発現していると考えられる。今後の進展については、方針に合致する主要事業が平成24年度に終了していることから、完成に伴う回復基調が期待できる。</td> <td>H26年11月頃</td> </tr> <tr> <td>指標2</td> <td>まちなか滞留時間</td> <td>%</td> <td>36.0</td> <td>H20</td> <td>40.0</td> <td>H25</td> <td>33</td> <td>29.7</td> <td>×</td> <td>あり なし</td> <td>●</td> <td>平成25年度推計値では、目標値40%に対して29.7%となっており、達成の見込みは低い。今後の進展については、歩行者通行量と同様、主要事業の完成に伴う影響が期待できるとともに、平成27年春に開業が予定されているJR大分駅ビルとの相乗効果によって、より大きい回復基調が予想される。</td> <td>H26年11月頃</td> </tr> <tr> <td>指標3</td> <td>地区内居住人口</td> <td>人</td> <td>21,400</td> <td>H20</td> <td>21,900</td> <td>H25</td> <td>21,989</td> <td>22,075</td> <td>○</td> <td>あり なし</td> <td>●</td> <td>平成24年度実績では21,959人となり、目標値21,900人に到達しており平成25年度推計値においても、22,075人と目標を上回っている。達成要因としては、事業の進捗に伴い宅地開発が先行して施された結果、流入人口の伸びに伴う地区内居住人口の増加が見られるものと考えられる。また、地区内居住人口の上昇傾向は引き続き期待されることから、目標1・2への波及効果としても期待できる。</td> <td>H26年4月頃</td> </tr> </tbody> </table>										指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	モニタリング	評価値	指標1	歩行者通行量	人	318,287	H20	350,000	H25	291,535	288,290	×	あり なし	●	平成25年度推計値では、目標値350,000人に対して288,290人となり、達成の見込みは低い。しかしながら、平成17年度以前の実績を基にした推計値と比較すると、約5,500人上回っており、効果は発現していると考えられる。今後の進展については、方針に合致する主要事業が平成24年度に終了していることから、完成に伴う回復基調が期待できる。	H26年11月頃	指標2	まちなか滞留時間	%	36.0	H20	40.0	H25	33	29.7	×	あり なし	●	平成25年度推計値では、目標値40%に対して29.7%となっており、達成の見込みは低い。今後の進展については、歩行者通行量と同様、主要事業の完成に伴う影響が期待できるとともに、平成27年春に開業が予定されているJR大分駅ビルとの相乗効果によって、より大きい回復基調が予想される。	H26年11月頃	指標3	地区内居住人口	人	21,400	H20	21,900	H25	21,989	22,075	○	あり なし	●	平成24年度実績では21,959人となり、目標値21,900人に到達しており平成25年度推計値においても、22,075人と目標を上回っている。達成要因としては、事業の進捗に伴い宅地開発が先行して施された結果、流入人口の伸びに伴う地区内居住人口の増加が見られるものと考えられる。また、地区内居住人口の上昇傾向は引き続き期待されることから、目標1・2への波及効果としても期待できる。
指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)			フォローアップ予定時期																																																								
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	モニタリング	評価値																																																														
指標1	歩行者通行量	人	318,287	H20	350,000	H25	291,535	288,290	×	あり なし	●	平成25年度推計値では、目標値350,000人に対して288,290人となり、達成の見込みは低い。しかしながら、平成17年度以前の実績を基にした推計値と比較すると、約5,500人上回っており、効果は発現していると考えられる。今後の進展については、方針に合致する主要事業が平成24年度に終了していることから、完成に伴う回復基調が期待できる。	H26年11月頃																																																								
指標2	まちなか滞留時間	%	36.0	H20	40.0	H25	33	29.7	×	あり なし	●	平成25年度推計値では、目標値40%に対して29.7%となっており、達成の見込みは低い。今後の進展については、歩行者通行量と同様、主要事業の完成に伴う影響が期待できるとともに、平成27年春に開業が予定されているJR大分駅ビルとの相乗効果によって、より大きい回復基調が予想される。	H26年11月頃																																																								
指標3	地区内居住人口	人	21,400	H20	21,900	H25	21,989	22,075	○	あり なし	●	平成24年度実績では21,959人となり、目標値21,900人に到達しており平成25年度推計値においても、22,075人と目標を上回っている。達成要因としては、事業の進捗に伴い宅地開発が先行して施された結果、流入人口の伸びに伴う地区内居住人口の増加が見られるものと考えられる。また、地区内居住人口の上昇傾向は引き続き期待されることから、目標1・2への波及効果としても期待できる。	H26年4月頃																																																								
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1 大分駅における乗車人数 その他の数値指標2 中心市街地の営業店舗数	人 店	6,251,972 337	H20 H20	目標値 目標年度		数値 モニタリング 評価値		目標達成度※1 6,382,725 347	1年以内の達成見込み 効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期 H26年 月頃 H26年 月頃																																																										
4)定性的な効果発現状況	市民との合意形成活動を通して、にぎわい創出に向けた施設のあり方や中心市街地の回遊性の促進、大分南北軸の整備のあり方等、まちづくりについて共有し、意見や意向を(み取り計画)に反映した。																																																																				
5)実施過程の評価	モニタリング	実施内容			実施状況			今後の対応方針等																																																													
	住民参加プロセス	交付期間中に事業計画や整備に対する住民の理解、協力等を得るための合意形成活動として、平成23年5月30日から、計9回にわたり「中心市街地活性化に向けたワークショップ」を実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● ● ●																																																													
	持続的なまちづくり体制の構築	本事業により整備を行ったシンボルロードの維持・運営・管理について、市民ボランティアを募集し、5回のワークショップを経て市民組織としてシンボルロード維持・運営・管理協議会を設立した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● ● ●																																																													

様式 2-2 地区の概要

大分駅周辺地区 (大分県大分市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標 中心市街地における都市機能の充実及び魅力づくり	歩行者通行量	318,287	350,000	288,290
目標1 中心市街地の南北一体化による都市機能の充実と賑わい創出	まちなか滞留時間	36.0	40.0	29.7
目標2 人にやさしい魅力ある都市空間の整備	地区内居住人口	21,400	21,900	22,075
目標3 安全で快適な居住環境の整備				

大分駅周辺地区で実施した事業 (抜粋)

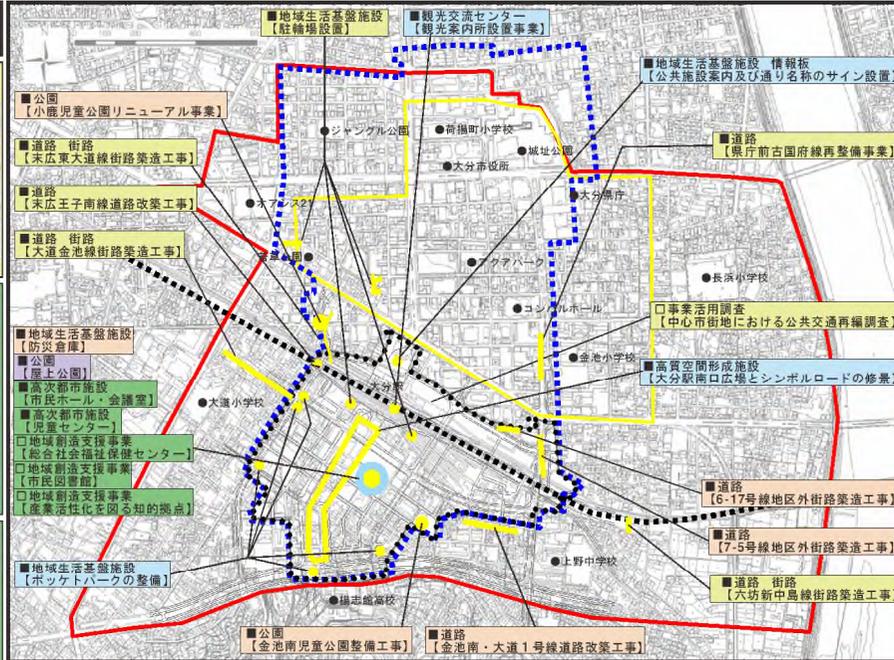
■道路・街路整備



■高次都市施設 (市民ホール・会議室)



■地域創造支援事業 (総合社会福祉保健センター・市民図書館)



凡例

事業分類	■ 基幹事業	□ 提案事業	■ 目標1	■ 目標1と目標2
			■ 目標2	■ 目標2と目標3
			■ 目標3	■ どの目標とも関係しない

□事業活用調査 (大分都心南北軸トータルデザイン)

■地域生活基盤施設 (駐輪場)

■地域生活基盤施設 (情報板)

案内板A

案内板B

案内板C

通り名称サイン

【区域全体を対象とした事業】

- 地域創造支援事業【都市博物館モデルルート策定事業】
- 地域創造支援事業【まちなか出店サポート事業】
- 事業活用調査【事業効果の分析に関する調査】
- 事業活用調査【大分都心南北軸トータルデザイン策定調査】
- まちづくり活動推進事業【環境にやさしい自転車のまちづくり啓発事業】

まちの課題の変化

大分駅付近連続立体交差事業や大分駅南土地区画整理事業に関連する街路整備が進み、大分駅へのアクセスが強化されている。大分駅を中心とした様々な交通手段による結節機能の充実が図られている。情報文化新都心の核となる複合文化交流施設が整備され、交流と賑わいの拠点となっている。都市機能や施設の充実に伴い、中心市街地の魅力回復やさらなる賑わい創出が求められる。来街者に対する適切な案内と情報提供の充実が求められる。

今後のまちづくりの方策改善策を含む)

■本事業の実施や大分駅南土地区画整理事業など関連事業の進捗により、駅南側の都市機能の充実及び魅力づくりへの整備が着実に図られた。

■駅南側と比べて多くの既存ストックをもつ駅北側については、既存施設のリノベーションや利活用を含めソフト事業を展開しやすい魅力的なハード整備と賑わいの促進を図る。

■魅力ある既存施設とホルトホール大分や県立美術館など新たな賑わいの拠点となる施設を来街者が楽し回遊できるよう、情報発信ツールの整備や新規店舗の出店サポートなど展開する。

■整備された施設を活かす活発な市民活動やイベントの継続的な開催を促し、まちづくりの目標達成に向けた成果の検証と評価を行い、魅力ある都市空間を育む。

■道路や公園等の既存施設のリノベーションと利活用

■回遊性向上に向けた情報発信施設の整備

■まちづくりの目標達成に向けた成果の検証と評価を行い、魅力ある都市空間を育む

■商店街エリアの賑わい促進と中央通り等の再編

■市民活動やイベントの継続的開催による来街者への魅力提供